

政務活動費調査研究報告書

会派名 新生・市民クラブ

氏名 大塚 正俊

日 程	平成 27 年 8 月 17 日（月）～ 18 日（水）
場 所	福岡県太宰府市役所
相 手 方	太宰府市議会橋本議長他議員 17 名 太宰府市教育委員会文化財課城戸副課長
参加議員 氏 名	今井義人、松井康之、千木良孝之、相良卓紀、松葉民雄、小住利子 村本幸次、古江信一、大塚正俊、草野修一、吉村尚久、中西伸之
目 的	友好都市である太宰府市との自治体間交流の推進に向けた具体的な施策について意見交換を行うとともに、大宰府政庁跡の復元事業について調査研究を行う。
内 容	<p>1. 太宰府市議議員との意見交換会</p> <p>①議員間交流について</p> <p>・太宰府政庁まつりへの参加について（10/3） （中津市議会） 本日の研究名メンバー 12 名を含め中津市議会として参加する予定であり、餅まき、観光パンフの配布をする予定。また、友好都市となったので、いろんな物産を持ち込みたいので、ブースを広げてほしい。 （太宰府市議会船越議員・政庁まつり企画委員長） 昨年同様テント 2 張りを予定しているが、ブースを追加したいのであれば担当部署から要請があれば対応したい。（翌日、太宰府市でテント 2 張りから 3 張りに拡張する方向で検討している旨連絡有。）</p> <p>・山国かかしワールド、コスモス祭りへの参加（10/26～30 の間） （太宰府市議会） 両イベントに参加する方向で調整をしたい。</p> <p>②アンテナショップの設置について （中津市議会） すでに耶馬溪米を宅配しているが、市内にアンテナショップを借りることができないか。 （太宰府市議会） 特産品と野菜等の日常品を販売してはどうか。JA が夢畑という店舗で野菜を販売しているが太宰府産の物が少ない。適地を検討していきたい。</p> <p>③友好都市締結記念の植樹について （太宰府市有吉議員・天満宮関係者） 天満宮として現在場所の確保が難しい状況にあるが、友好都市の</p>

中津市議会からの要請であればそれなりの場所は確保したい。費用は志となっているので金額の設定はない。飛び梅の苗木は原則持ち出さないが、友好都市記念植樹ということであれば何とかしたい。

(太宰府市議会・中津市議会)

市役所敷地内に記念植樹が出来るかどうか検討する。

④自治体間交流の推進に向けた具体的な施策について

(太宰府市議会)

太宰府市民にとってかかしワールドは人気がある。バスツアーを企画してはどうか。

(中津市議会) トイレ、駐車場の受け入れ態勢の整備が急がれる。かかしワールドのパンフを政庁まつりや議会に配布したい。

(太宰府市議会)

いろんな組織、立場での交流が必要ではないか。やっぱり中津市は遠い。職員交流も一つの方法。交流により距離が近くなるのでは。

また、両市の HP にバナーを貼ったらどうか。また、各種団体のコンテンツも貼ると身近に感じることに繋がる。

(中津市議会)

友好都市締結の時点でバナーを貼っておくべきだった。中津は佐賀市と少年野球の交流戦(早慶戦)を毎年実施している。太宰府市と野球やラグビー等の球技で交流戦をやれたら良いと思う。

(中津市議会)

小中学生の交流を促進するため、中津市では修学旅行で太宰府天満宮や政庁に立ち寄ることを検討している。太宰府市で検討できないか。

(太宰府市議会)

市の施設等で体験型研修のカリキュラムがあれば、修学旅行以外にも参加が可能ではないか。紹介してほしい。中津市には太宰府市に無いものをたくさん持っている。是非、市民に紹介していきたい。

2. 現地研修「大宰府政庁跡の復元について」

7世紀後半、大和朝廷は那の津の官家(みやけ)を現在の大宰府政庁跡に移し、奈良・平安時代を通して、九州を治め、我が国の西の守り(防衛)、外国との交渉の窓口となる役所(大宰府)としました。

その規模は平城京、平安京に次ぐ大きなものであり、その規模をしのばせる立派な礎石が残り、そこを中心に門や回廊、周辺の役所跡等が整備されています。

1921年(大正10年)3月3日国の史跡に指定。1953年(昭和28年)3月31日、国の特別史跡に指定されています。

現在の太宰府政庁跡は史跡公園として整備され、正殿の巨大な礎

	<p>石をはじめ政庁の全体を基壇跡や遺構、解りやすい説明パネルによって容易に知ることができるようになっていきます。</p> <p>【建物の復元にあたっての問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場者がある場合、現在の建築基準法をクリアできるかどうか。（奈良の平城京の復元建物は本物ではない。耐震構造にするため免震装置を基礎に配置。再建費は門約 50 億円、正殿 250 億円） ・膨大な建設費、維持管理費 ・政庁が 3 期に分かれて建替えられており、どの時期の建物に復元するのか。 ・室町時代から政庁跡として認知されており、政庁跡という長い歴史感から建物を復元すべきなのかという疑問 <p>【建物を復元するかどうかの判断材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、その周辺に住んでいる人たちの思いがどうなのか ・整備の目的は何か（目的を達成するために復元が必要か） <p>※目的が地域の交流のためか、観光客招致のためか ⇒どの程度の本物性が必要かという判断</p> <p>【太宰府市の復元の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太宰府政庁跡は、長い年月をかけて遺跡として認知され、市民の憩いの場としてイベントや遠足、散歩等で利用されている。そのため建物は復元せずに現在の姿で保存する方針を取っている。
成 果	<p>1. 太宰府市議議員との意見交換会</p> <p>意見交換会で出された意見については、実現に向けて両議会において積極的に取り組むことが約束できました。</p> <p>今後、執行部に政策提言し、人・モノ・情報等の交流を促進していきたいと考えています。</p> <p>2. 「大宰府政庁跡の復元について」</p> <p>中津市では、永添の国指定史跡「長者屋敷官衙遺跡」の復元工事に向けた基本設計が進められています。</p> <p>今後、高床式建物跡の復元等が計画されており、建物の復元の目的や必要性を十分考慮するとともに、財政的な裏付け等も考慮の上復元の是非を判断すべきと考えています。</p>